

仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

仕入れる店舗とその店舗の具体例を説明していきます。
仕入れる店舗に制限はなく、普段買い物をしているスーパーからデパートまでどこでも仕入れをすることができます。

店舗の特徴をコンディションで分けると
新品を多く扱っている店舗と中古を扱っている店舗があります。

挙げればきりがなくらい仕入れできる店舗はあります。具体的な店舗名は

【効率の良い店舗の回り方】

の章で記載してありますので、見落としてしまっている方は戻って確認してください。

数多くの店舗すべてを網羅するのは難しいですが、店舗の中で見るべきポイントを押さえておくことで、知らない店舗に行っても、迷わず仕入れをすることができます。

仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

ここでは、そのポイントを具体例を上げながら説明していきますのでしっかり理解するまで何度も読み直してください。

先ずは、店舗を回るときの視点の向け方から説明していきます。

① 入店してから商品を検索するまでの流れ

店舗により視点は変わってきますが、共通して言える事は、**視野を広くする**ことです。

多くの方が商品を見つける事に必死になり、視野が狭くなりがちです。

一歩引いて商品棚を全体的に見ましょう。

そうすることで、商品の見落としが少なくなったり、店内のポップの見逃しが少なくなります。

仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

必ずポップは見逃さないようにしてください。



セール情報や店舗独自の割引情報、商品のキャンペーン、店舗のオープン情報や閉店情報など多くの情報が記載されています。

こちらの画像は、
T-falのキャンペーンのポップです。



仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

これは、T-falを1個購入するごとに1000円のキャッシュバックをするというキャンペーンになります。

1個購入するごとにもらえる1000円のキャッシュバックは、純利益と考えてください。

T-falの売れ行きは、モノレートをみてもらえばわかりますが、毎日かなりの数が売れていますので、このキャンペーンを利用すれば高回転で1個当たり1000円の利益を出してくれます。

こういったキャンペーンを利用した仕入れ方法は、

【キャンペーンは使いまくる】

こちらの章で説明しておりますので、是非読んでおいてください。

仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

他の例を挙げてみます。



これは、良品買館の閉店のお知らせですね。

この情報を知っていれば、セールが始まった日にこのお店に行くと最大90%の恩恵を受けることができます。



仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

これは、セカンドストリートの新規入会時にもらえるクーポン券です。

このクーポンの入手方法を店内の広告に書いてありました。アプリを登録すれば、10%オフのサービスを受けられるというものです。

このような有益な情報が店内には多く落ちています。

情報の取りこぼしがないように、しっかり店内の商品以外にもアンテナを張っていきましょう。

②他人が見ない所を見ることが重要です。

見るポイントとしては検索がややこしい商品は利益が取れる商品の可能性が高いです。

- ・バーコードがなくて、キーワードを手打ちして検索をしないといけない商品

仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

- ・ 雑多におかれた棚にある商品
- ・ バーコードがシールで隠されている商品
- ・ 商品の奥に隠れてる商品など

はちゃんと検索をしていきましょう。

利益の取れる商品が残っている可能性が高いです。

③ 逆向きに回ることも大切です。

視野を広げる重要性は、先ほど説明しましたが、どうしても見逃してしまう商品や情報というものは必ずあります。

その時に有効な方法は、一度店内を一通り見て回った後、もう一度逆回りに店内を回ってみることです。

一周目とは違った商品が目に付いたり見落としていた商品が見つかります。

仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

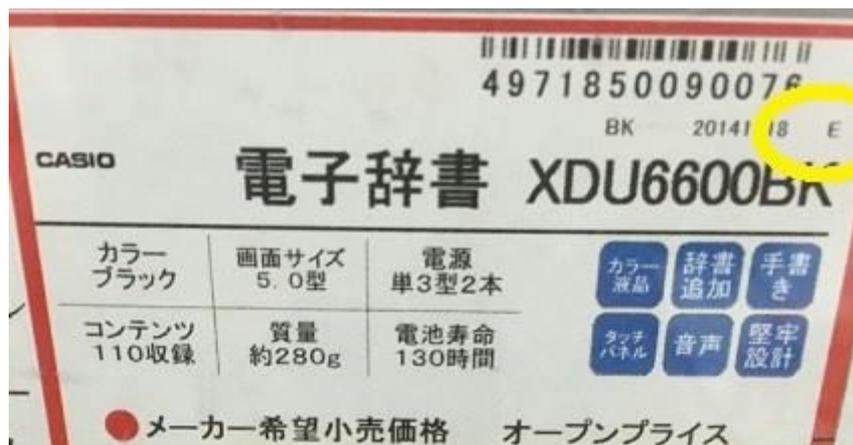
一周目には、商品の陰に隠れて見えなくなっていた商品を逆回りに回ることによって気づくことができます。

④ 値札に注目する。

これは、どの店舗でも必ず行ってください。

各店舗に独自の番号や暗号を記載していますので、これを解読することで、仕入れ判断や商品を探す際の目安になるのでかなり重要な情報になります。

こちらの画像は、ヤマダ電機の値札です。



ここで注目すべき点は、

仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

右上に黄色い丸で囲んだアルファベットです。丸の中には、「E」と記載されているのがわかります。この「E」が示す意味は、生産完了商品を示します。

生産が完了している商品は、

- ・ 値段の交渉がしやすい
- ・ もともと値引きをしてくれている可能性が高い
- ・ この後の製造がないから出品者が無尽蔵に増加することはない
- ・ 現状で生産されている数のみが市場に存在する

等の特性を持った商品なのですが、人気商品で品薄の状態なら、需要と供給の関係により価格が高騰（プレミアム価格）します。

他の記号でいえば

「 G 」：生産終了品を大型店舗に集めたという意味

「 E Y W 」：廃盤商品

仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

「 Q 」：原価が安く、店舗が売りたい商品

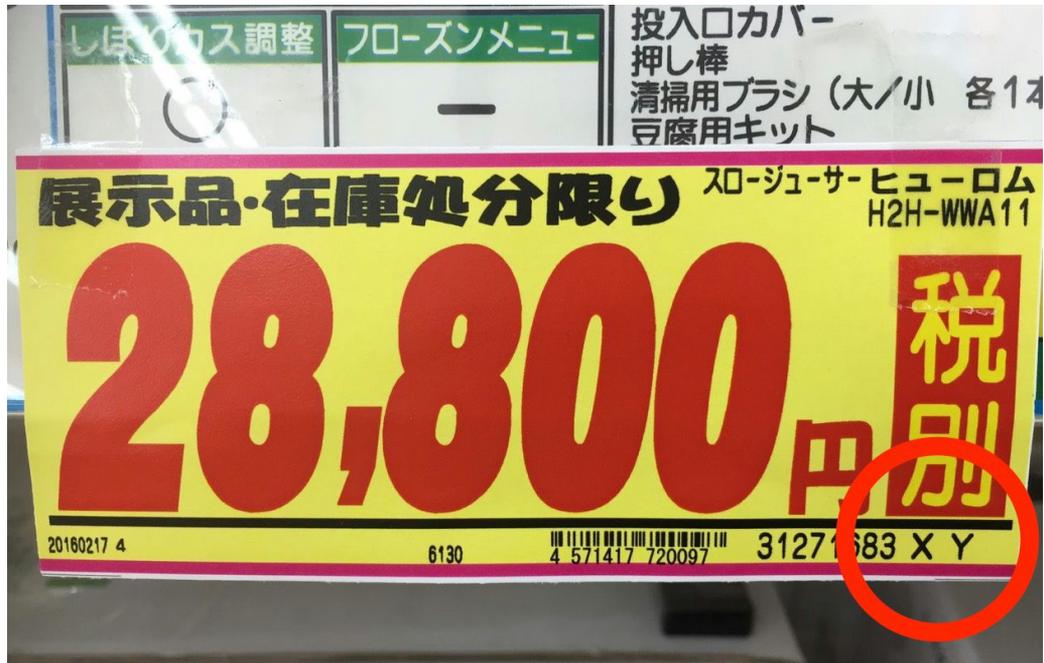
このあたりの**記号の秘密**がわかると仕入れの時のポイントになります。

次はケースデンキです。



2つのアルファベットが並んでいるのですが、その左側が「 X 」だと、メーカーからの取り寄せができない商品になります。

仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント



取り寄せができないということは、廃盤商品である可能性が高いです。

エディオンも同じ様な商品が有ります。



仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

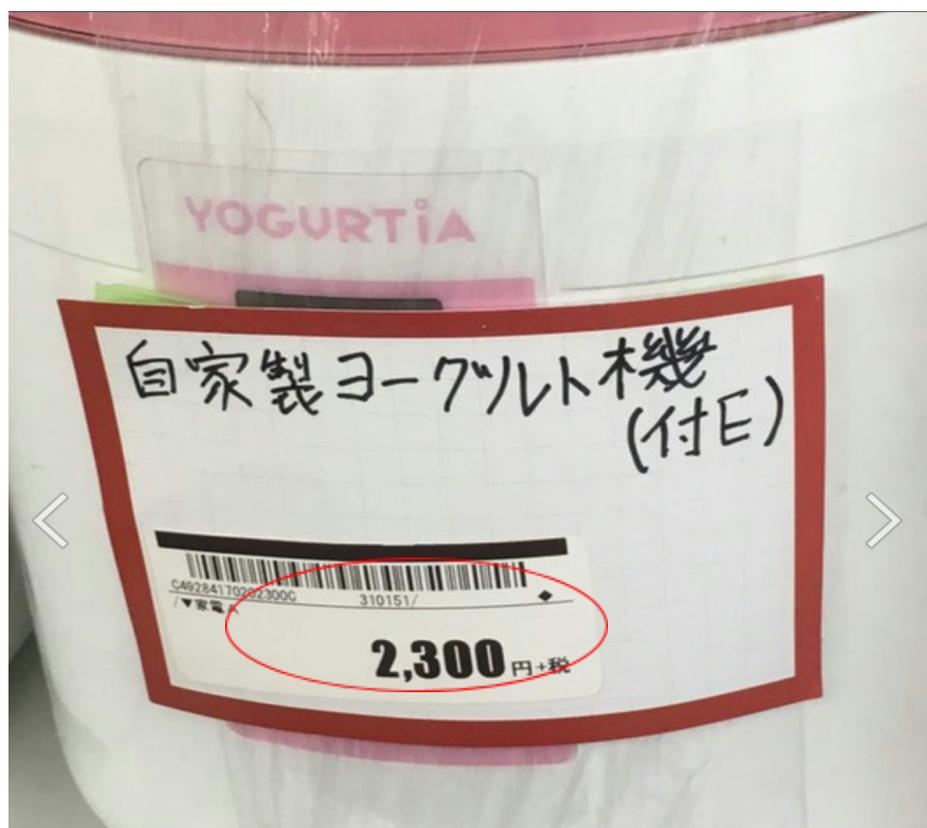
値札の端に書いてある「 X Y Z 」が廃盤商品の案内になります。

新しい商品が入るので、早く商品を販売してスペースを空けたい時などにつけられる記号です。

店側が、売りたい商品になりますので、値引き交渉はほかの商品に比べてやりやすいです。

ものによっては、50%を引いてもらった商品もあります。

ここからは中古になりますが、次はセカンドストリーートの値札の画像になります。



仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

画像の赤い丸に注目してください。

少し見えにくいのですが、

3 1 0 1 5 1 /

と記入されています。

これは、出品した日付を表しています。

右から読むと15年10月13日になります。

ここから読み取れることは、2015年10月13日に出品されて、そこからずっとディスプレイされているということです。

言い換えれば今が2016年なので売れ残っている商品といてもいいでしょう。

このような商品（売れ残っている商品）を必死に検索しても利幅の取れる商品に出会える可能性は低いです。

最近出品されたフレッシュな商品をしっかり検索するようにしましょう。

仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

出品された商品のみを検索するという点で、時間の短縮、効率化を図ることができます。

ハードオフ

店舗によっては、出品日を記載してあります。



仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

ここに記載している数字を右から読み解いていくと、

29日 12月 15年

つまり、2015年12月29日に出品された商品だということです。

暗号化している店舗（店舗独自の商品番号）も多く存在します。

出品日なのか店舗独自の数字なのかは、隣に並んでいる商品の値札と見比べて判断してください。

店舗独自の番号であれば並んでいる商品の値札にある番号の羅列はバラバラです。

店舗独自の商品番号は、元ハードオフ店長に聞いたのですが解読は不可能ということです。

最近のハードオフやオフハウスでは、ネット上に出品していることもあります。

仕入れ店舗の具体例・見るべきポイント

ネット出品商品は価格帯がネット上の相場と同じ価格帯に設定していることが多いため、利幅の取れる商品が少ないですので時々検索する位のレベルが良いと思います。